

方針

～人間愛～

青年団活動を通して、喜怒哀楽を共有し、成長し合える仲間を増やしていく。

～青年団愛～

各加盟団で特色のある活動を実施している。この活動を幅広く展開していくためには、他加盟団との交流が必要である。そのために、いつでも気軽に加盟団同士で連絡を取り合えるような関係作りを後押ししたい。加盟団の架け橋となれるような事業や場を提供していく。

～地域愛～

青年団の意義を再確認し、地域や社会の課題に目を向けた活動に取り組み、社会へ青年団のアピールを行い、認知度も高めていきたい。

平成27年度テーマ

あいぼう

愛紡

※「市町村の枠を超えて共に歩む」ため、このテーマにしました。

### 1) 第64回宮崎県青年大会

期 日：平成27年9月5日（土）～6日（日）

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園 KIRISHIMAツワブキ武道館 他

スポーツを通して各加盟団との交流を深め、地域に伝わる伝統文化・芸能の掘り起こしを目的として開催する。体育の部・芸能文化の部ともに1人でも多くの青年団員に参加していただき、この大会で得られた経験を今後の活動に活かしていけるよう、実りある大会としたい。

### 2) 第64回全国青年大会

期 日：平成27年11月13日（金）～16日（月）

場 所：東京都内各会場

日頃の練習の成果を全国の舞台上で発揮し、その中で全国の青年団との交流ができる大変貴重な場である。この大会に参加して様々な感動や経験を得ていただき、地元での活動に繋げていただけるよう、多くの参加者を派遣していきたい。

### 3) 平成27年度MSK教養講座～明日を担う青年リーダー達へ～（宮崎県活動家研修会）

期 日：平成27年6月27日（土）～28日（日）

場 所：未定

年度当初に青年団員としての役割、組織のあり方、活動内容等を議論していくなかで、これからの活動目標を設定していくと同時に、参加者同士が繋がり、交流を深め合う場として開催している。

このMSKの参加者が、これからの目標を見つけ、実行に向けての意欲が高まるよう、意義ある研修会を企画・実行していきたい。

### 4) 平成27年度大夜会～もっと語ろう夜会～（宮崎県青年問題研究集会）

期 日：平成28年1月23日（土）～24日（日）

場 所：未定

青年団活動の1年間を振り返る中で、生じた問題や悩みに対する解決策を探り、次年度に向けての目標を立てることを目的として開催する。

様々な情報を得るとともに、交流を深めることのできる貴重な場であるため、全加盟団からより多く参加をしていただきたい。

## 5) 平成27年度大交流会

期 日：平成27年10月（予定）

場 所：未定

県内青年団同士の交流・親睦を深めるとともに情報交換できる場を設ける。

各加盟団からできるだけ多くの団員に参加していただけるよう企画・運営を行い、参加する団員が有意義な時間を過ごせるよう努めたい。

また、各加盟団においては多くの参加者を募り、積極的な参加をお願いしたい。

## 6) 出逢い事業

期 日：未定

場 所：未定

昨年度大夜会での提言を受け、社会活動の一環として出逢い事業を実施する。

加盟団から選出された実行委員会体制で取り組んでいく。また、実行委員会体制とすることで、各地域の情報交換等を行うことにより、加盟団の仲間との繋がりを深めつつ、リーダー育成も目指していきたい。

事業内容については実行委員会にて協議を行っていく。

実行委員会への参加・協力をお願いしたい。

## 7) お邪魔させていただきます活動（オルグ活動）

各加盟団の事業等に、スタッフや参加者としてお邪魔させていただくなかで、県青協と各加盟団との連携強化を図るとともに、情報交換の場とすることで、今後の青年団活動をより良いものにしていくよう努めていく。

## 8) 第46回九州青年祭 in 長崎

期 日：未定

場 所：長崎県

九州ブロック青年団で開催される事業である。今年度は長崎県の予定であるが、実施等については未定である。今後も九州ブロック及び長崎県青年団協議会との情報交換を行い、詳細が決定次第周知していく。

## 9) 2015年度全国地域青年「実践大賞」

この賞は全国各地で展開されている特色ある実践を顕彰し、学びあい、青年たちの繋がりを作る機会として明日の地域づくりの一端を担うことを目的としている。

自分たちの活動を全国にアピールできると同時に、活動を振り返る良い機会となるため、今年度も昨年度以上の応募をお願いしたい。

## 10) 第61回全国青年問題研究集会

この事業は大夜会の全国版で、全国各地の青年団の仲間と語り合うなかで、問題や悩みに対する解決策を探り、次年度に向けての目標を模索することのできる大変貴重な場である。また、全国の仲間と交流をする機会でもあるので、多くの参加者を募りたい。

## 11) 宮崎県青少年団体連絡協議会

各加盟団体ともに様々な問題を抱えているからこそ、相互連携の強化が必要である。県青協として引き続き加盟し、相互連携の視点から活動の実態や本組織のあり方、加盟の継続を含め検討していきたい。

## 12) 北方領土返還要求宮崎県民会議への参加

今年度も事務局として参加、活動していく。

不法占拠から69年。返還への思いを引継ぎ、声を発信していかなければならない。今年度のキャラバン隊については、県央地区を予定している。各加盟団からの参加・協力をお願いしたい。

## 13) 情宣活動

### ① 投げ込み

青年団活動を広く周知していくことは、新たな仲間を増やすと同時に青年団活動の認知度を上げることに繋がっていく。TV、新聞、ラジオ等へ積極的な情報の投げ込みを行いたい。県青協事務局までご一報いただき、宣伝活動に利用していただきたい。

### ② 県青協ホームページの活用

近年は青年大会の申し込みや要項のダウンロード等に使用している。  
今年度は各加盟団情報を掲載するなど、実用的な運用を行っていきたい。

県青協ホームページアドレス→ <http://miyazakiseinen.com/wordpress/>

QRコード→



### ③ 日青新聞の定期購読

全国の青年団活動が掲載されており、様々な情報を得ることで今後の活動に活かすことができる。また、自分たちの活動も全国に発信できるため、積極的に活用していただきたい。今年度も各加盟団に定期購読をお願いしたい。

## 14) 2015年度全国青年団教宣コンテストへの推薦

教宣コンテストとは、機関紙やホームページ、Tシャツなど青年団が情報発信している媒体・グッズのコンテストである。各加盟団が、社会に対する青年団の主張をどのように効果的に発信していくか、組織強化として団員同士の共通認識をどうすれば得られるかを形にしたものである。

本コンテストを活用することで全国にPRするとともに、自分たちの活動にも役立ててもらいたい。

## 15) 会議

県青協の基幹会議は、定期大会のほか、代議員会を年3回以上開催することと規約に定めがある。

昨年度は、例年同様委任状の提出が目立った。

基幹会議は、宮崎県内の青年団が協議し、そこで承認されたことは県内青年団の共通認識となるため、基幹会議の重要性を再度認識していただき、活発な議論が展開されることを期待する。

## 16) 執行部

県青協規約には、会長1名、副会長4名、常任理事12名、監事3名、事務局長1名の計21名が定数となっている。平成23年度には、県青協の存続についても協議をしたが今年度も役員の定数を満たしておらず、十分な県青協運営を行うことができていない。

今後も、加盟団には県青協との繋がりと、自分たちの代表ということを認識していただき、役員選出に努めていただきたい。また、多くの加盟団員が役員立候補者として名乗りを上げるような執行部の組織づくりに努めていく。

## 17) 事務局

今年度は事務局長1名と事務局員1名で運営を行っていく。円滑な事務局運営に努めたい。

県内青年団の事務局であるので近隣に来られた際は、ぜひお立ち寄りいただきたい。

宮崎県青年団協議会事務局

住所：〒889-2151 宮崎県宮崎市熊野1443-12 宮崎県スポーツ会館1F

電話番号 0985-89-5537 事務局携帯電話 090-5744-6062

FAX 0985-89-5538 携帯電話メールアドレス m\_seinen\_kendan@docomo.ne.jp

パソコンメールアドレス m\_seinen@d2.dion.ne.jp

事務局勤務時間 9:30~17:30 (月・火・木曜日) 8:00~16:00 (水・金曜日)

## 18) 団員登録

県青協の運営を行うにあたって、団員確保は非常に重要である。加えて、会費は貴重な運営費である。各加盟団においては、団員登録を速やかに行っていただきたい。

(登録締切：平成27年7月17日(金)必着)

また、個人会員の登録も認めることとなっている。加盟団のない地域に在住している者、加盟団の規約によって登録出来ない者からの希望がある場合は随時登録を行い、少しでも青年団の仲間を増やせるよう努めていきたい。

## 19) 財産・予算

県青協の預金・備品・その他の資産については、事務局において管理する。

予算については、補助金額が年々少なくなっているため、健全な運営ができるよう自主財源の確保にも努めていく。

## 20) 宮崎県青年団協議会賛助会

賛助会員に対し、県青協運営に資するための賛助会費納入依頼を行っていく。